

# ナシ交配用ミツバチ使用のポイント

令和6年3月 千葉県

人工授粉だけでなく  
ミツバチ等による自然受粉も活用して  
目標の着果数を確保しましょう！



## 【殺菌剤】

トレノックスフロアブルは  
入地期間中も  
使用可能

- ★ただしハチが飛ばない時間帯に散布する！
- ★ハチと人工授粉を併用する場合、散布当日は着果率等に影響があるので注意！

## 【殺虫剤】

入地期間中は  
使用不可！

ダイアジノン水和剤34は  
返却後に使用

★入地前の使用時期にも注意！

【対象害虫】	【殺虫剤名】	【入地前の散布】
チョウ目	サムコルフロアブル10	3日前まで
	フェニックスフロアブル	3日前まで
チョウ目 アブラムシ	エクシレルSE	3日前まで
	ヨーバルフロアブル	14日前まで
	ダイアジノン 水和剤34	不可
アブラムシ	ウララDF	3日前まで

★ダイアジノンは放飼園の隣接園でも使用を避ける

## 【群数の目安】

3～5群 /ha

## 【ハチの行動範囲】

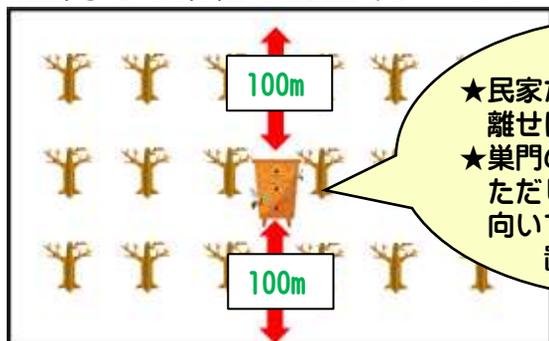
巣箱から50～100m

★ほ場全体が  
カバーできる位置に  
巣箱を配置する（下図）

## 【入地期間】

10～12日間を  
目安に

## 【園内での巣箱の配置イメージ】



- ★民家などから100m以上離せばフン被害のリスク低減
- ★巣門の向きは南（または東）ただし、フン被害は巣門が向いている方向に多いため置き方に注意

※住宅街ではフンへの苦情や  
住民が刺される等のリスクがあるので注意

- ★豊水の開花初期に入れば幸水の開花後半までカバーすることができます
- ★病害虫の適期防除を行うため必要以上に長く設置しない

ミツバチも  
うまく使えば  
立派な戦力！

